

2

運用商品を選ぼう

確定拠出年金は、自分で選んだ運用商品で運用し、その運用結果によって将来の受取額が決まります。
 なお、投資信託は預金とは異なり、運用の結果によっては損失が生じる可能性があります。*

※ご加入の方からの運用指図がないご資産は、未指図資産という現金相当の資産として管理されます。所定の期間経過後、全額「投資のソムリエ(ターゲット・イヤー)」で運用されます。

運用商品を選ぶ前に **最低限** 理解したいポイント

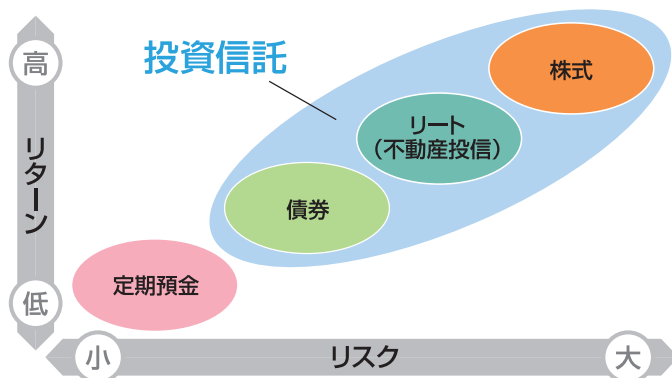
POINT.1

運用商品は**資産ごと**に**リターン**と**リスク**が異なります

➔ 資産の種類によってリターンとリスクの水準はある程度特徴が見られます。

➡ 詳しくはP.5、P.10をご覧ください

右図はあくまで一般的な傾向であり、必ずしもこの通りの分布とならない場合もあります。



POINT.2

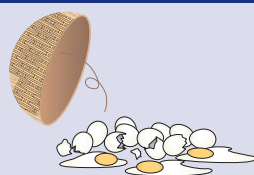
投資信託など値動きのある運用商品で運用する場合、

リスクをおさえるには**分散投資**が効果的です

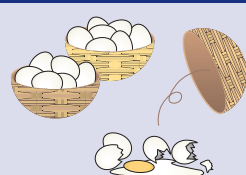
投資の世界には「1つのカゴにすべての卵を盛るな」という格言があります。もしものときでも大きな損失を被ることがないように、複数の資産に分けて運用しましょう。なお、定期預金のみで運用する場合は原則、元本が保証されています。

➡ 詳しくはP.10をご覧ください

分散投資をしなかった場合



分散投資をした場合



POINT.3

分散投資の組み合わせ(**資産配分**)は、**人それぞれ異なります**

➔ 年齢、リスクに対する考え方などによって、どんな資産配分が適しているかは様々です。

➡ 詳しくはP.11をご覧ください

POINT.4

年金資産は**定期的**に見直しましょう

➔ 運用を開始した後も、運用環境、年齢、目標の変化に合わせて、適宜、資産を見直すことが大切です。

➡ 詳しくはP.12をご覧ください

実際の運用商品選びへ!

資産配分を決める際は、自分で組み合わせる方法もありますが、みずほ銀行ではウェブサイトからアクセス可能な運用サポートツールSMART FOLIO ^{スマート} ^{フォリオ}〈DC〉もご用意しています。SMART FOLIO ^{スマート} ^{フォリオ}〈DC〉では5つの質問に答えるだけでご自身に合った資産配分を選ぶことができます。

資産配分の決め方から運用商品選びまでの流れ

STEP 1

スマート フォリオ

SMART FOLIO 〈DC〉で選びますか？自分で組み合わせますか？

SMART FOLIO 〈DC〉を利用する場合

〈「リスク許容度診断」をする〉

カンタンな質問にお答えいただくことにより、
あなたにあった運用商品の組み合わせをご提案します。〈イメージ図〉



➡ 詳しくは別紙「スマートフォリオ活用ガイド」をご覧ください

自分で組み合わせる場合



STEP 2

資産の組み合わせ方法を選びましょう



単一資産商品で
組み合わせる

資産ごとに個別の運用商品を組み合わせます。

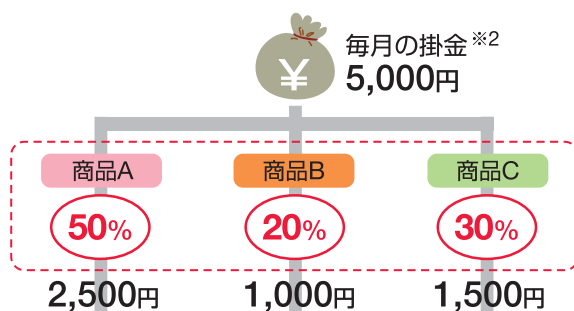


バランス型商品 (投資信託)を活用する

1つの投資信託の中で
複数の資産に分散投資します。

STEP 3

配分指定書で配分指定しましょう※1



合計が100%になるように
1%単位で割合を指定します

※1 ご加入の方からの運用指図がないご資産は、未指図資産という現金相当の資産として管理されます。所定の期間経過後、全額「投資のソムリエ(ターゲット・イヤー)」で運用されます。

※2 確定拠出年金の拠出について納付月と金額を指定することが可能ですが、本イメージ図は毎月定額拠出を前提にしております。

ここに記入ください。

STEP 4

運用が始まります

運用状況は定期的にチェックしましょう。ウェブサイトやコールセンターにて運用商品の見直しが可能です。

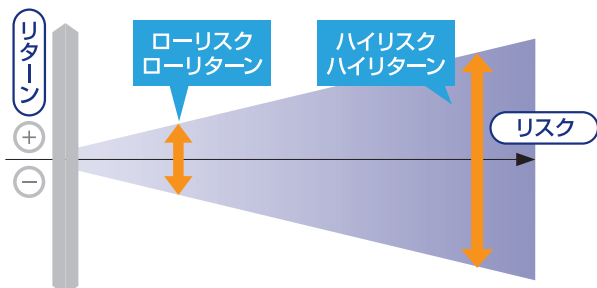
2-1 運用の基本を確認しましょう

リターンとリスク

運用にはリターンとリスクがあり、その大きさは資産ごとに異なります。

リターンとは、運用した結果得られる収益です。収益がプラスでもマイナスでも、元本との差がリターンとなります。

リスクはリターンのブレ幅のことをいい、運用の結果が期待されるリターンからどれだけブレるかという変動の大きさです。



リスクの大きい運用商品は、高い利益が期待できますが、損失が大きくなる可能性もあります。

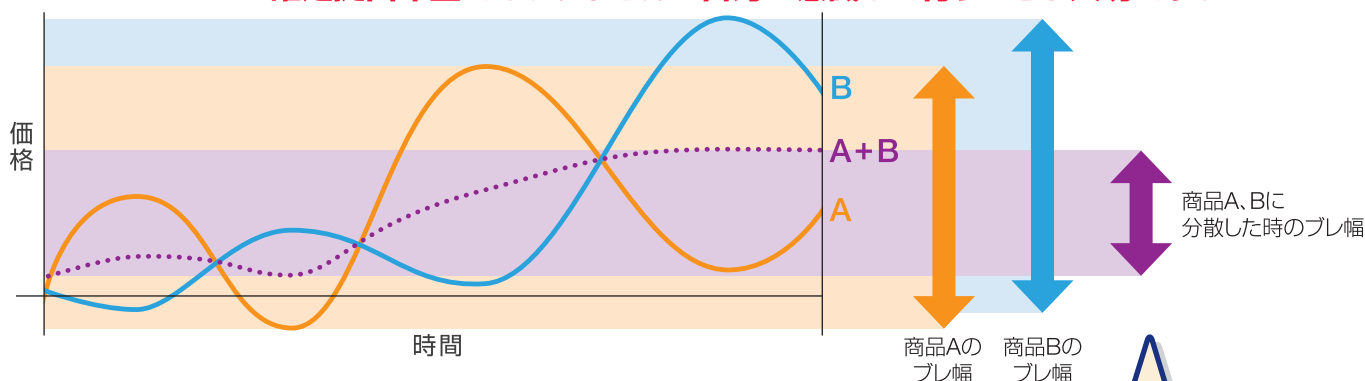
※左図はあくまで一般的な傾向であり、必ずしもこの通りの分布とならない場合もあります。

リスクをおさえる運用のコツ

分散投資

投資信託など値動きのある運用商品で運用する場合、1つの種類の資産で運用するのではなく、複数の資産に分ける「分散投資」が効果的です。

確定拠出年金では、みなさんご自身で意識して行うことが大切です。



値動きの特徴が異なる運用商品を組み合わせると、ブレ幅を抑えることができます。

**株式や債券、国内や海外など値動きの特徴が異なる資産を組み合わせ、
「分散投資」を心掛けましょう。**



長期投資

リスクのある運用商品でも長期投資していると、比較的安定したリターンを得ることができます。

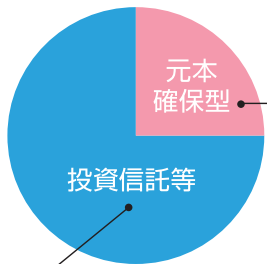
確定拠出年金は原則60歳まで（または年金資産のお受取が終了するまで）
運用するので、自然に長期投資をすることができます。

資産配分のポイント

資産配分とは、自分の資産を、どの資産にどの程度振り分けるか決めることです。
年齢や考え方などによって資産配分は様々です。
自分がどれくらいリスクを受け入れることができるのかを考えてみましょう。

スマート フォリオ
SMART FOLIO <DC>で
カンタンに診断できます。

積極的な 運用タイプ



リターン・リスクの
高い資産

リターン・リスクの
低い資産

長い

多い

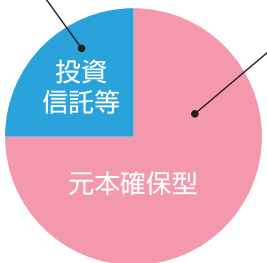
積極的

運用期間

確定拠出年金
以外の資産

リスクに対する
考え方

安定的な 運用タイプ



短い

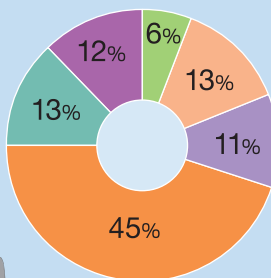
少ない

慎重

資産配分の例

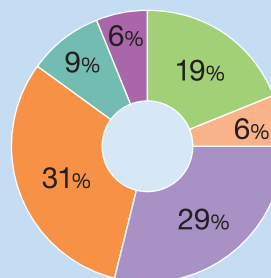
〈積極運用型〉

リスクをとって
積極的に収益を
狙います



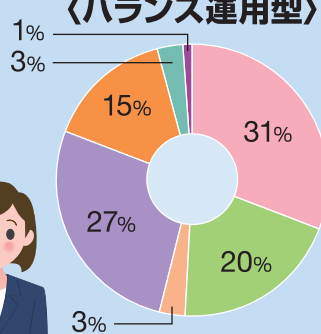
〈収益重視型〉

利回りを
重視しつつ、
値上がり益も
狙いたいです



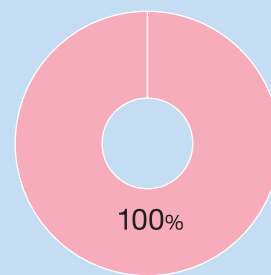
〈バランス運用型〉

バランスをとって
手堅くいきます



〈元本確保型〉

運用期間が
短いので、
元本確保を
最優先にします



元本確保型

国内債券

国内株式

海外債券

海外株式

国内リート

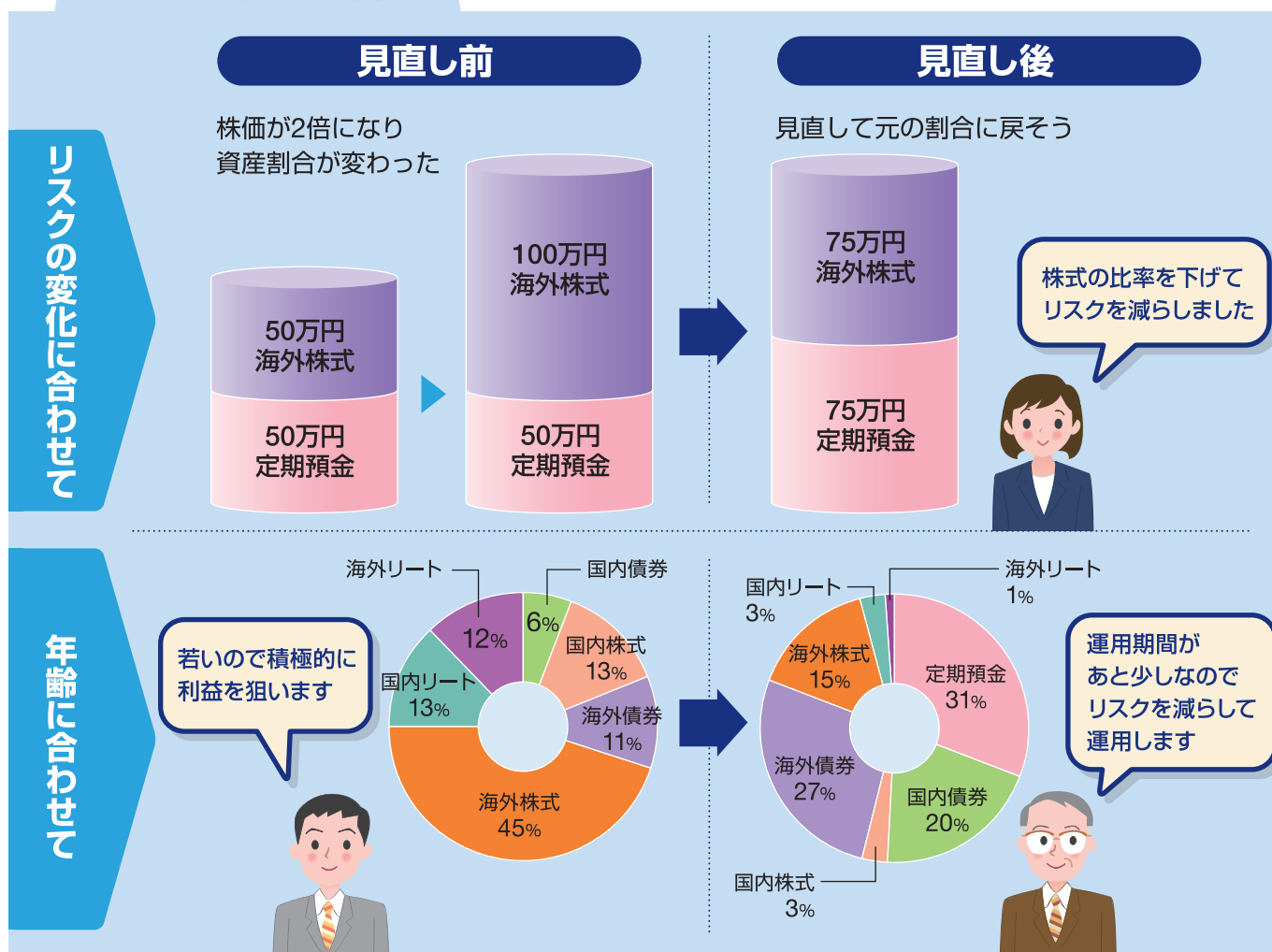
海外リート

※あくまでも資産の組み合わせ例として提示しているものです。実際の運用に関しては、ご自身の責任において資産配分を決定してください。

2-2 年金資産を見直しましょう

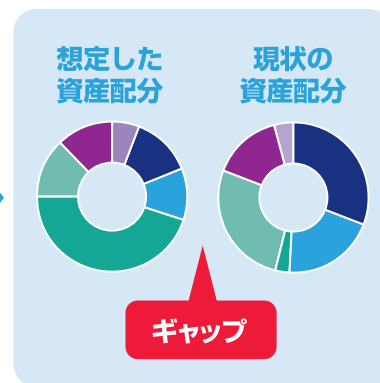
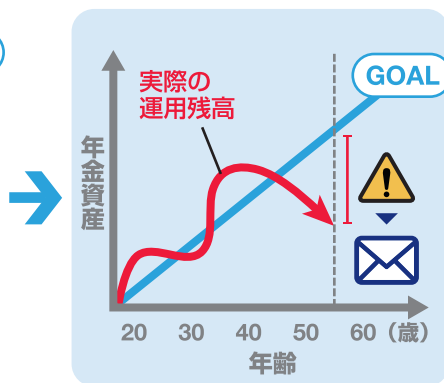
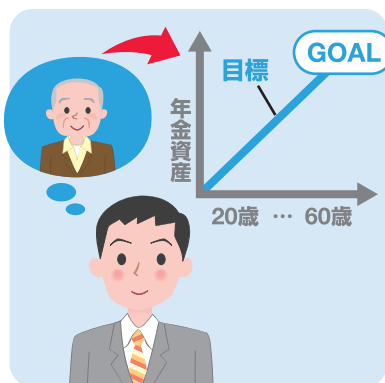
運用を開始した後も、運用環境・年齢・目標の変化に合わせて、適宜、資産を見直すことが大切です。

資産見直しの例



スマート フォリオ SMART FOLIO 〈DC〉でらくらく運用見直し

SMART FOLIO 〈DC〉には、**運用の目標金額を設定すると**達成状況の継続的な見直しをサポートしてくれる便利な機能があります。



見直しの手続き

ウェブサイトおよびコールセンター（電話）でお手続きいただけます。

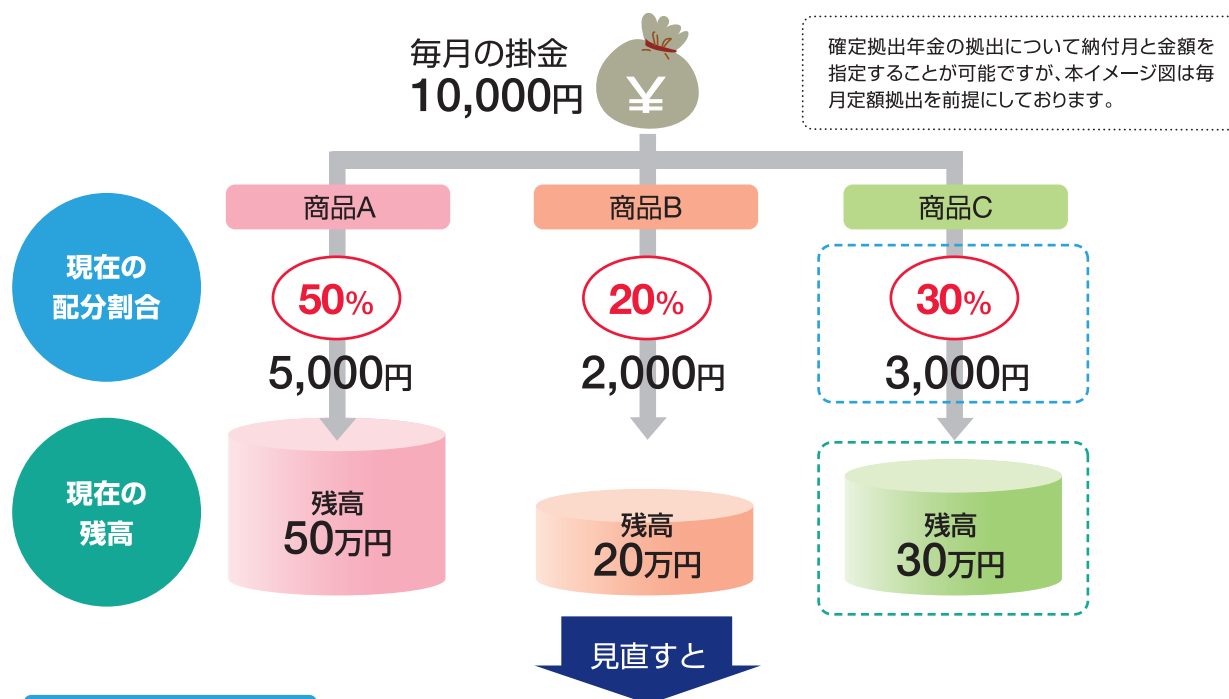
➡ P.15をご覧ください

配分変更

掛金で購入する運用商品とその割合を変更する手続きです。
(既に購入済みの運用商品に変更されません)

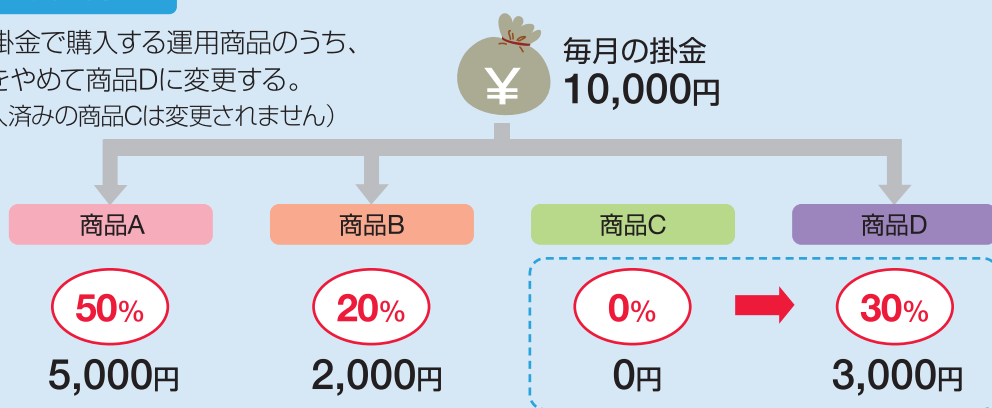
スイッチング

持っている（既に購入済みの）運用商品を売却し、別の運用商品を購入する
手続きです。（掛金で購入する運用商品に変更されません）



配分変更の例

- 毎月の掛金で購入する運用商品のうち、商品Cをやめて商品Dに変更する。
(既に購入済みの商品Cは変更されません)



スイッチングの例

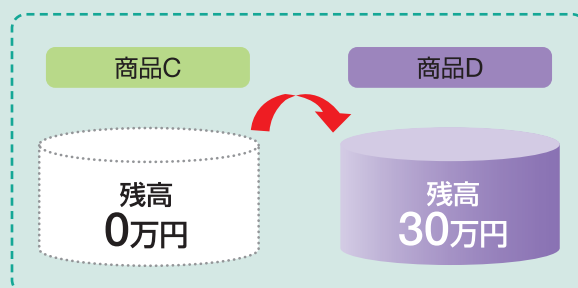
- 商品Cの残高を売却し、商品Dを購入する。
(毎月の掛金で購入する商品Cは変更されません)



！スイッチングにかかる日数

運用商品により売却・購入の手続きに要する日数が異なります。実際の取引の発注日・約定日・受渡日は加入者専用ウェブサイトで確認することができます。

通常3～8営業日かかります。



掛金で都度購入する運用商品、既に購入済みの運用商品の両方を見直す場合は、配分変更・スイッチング両方の手続きが必要です。